# 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日


上場会社名　株式会社 コンセック　　上場取引所　大
コード番号　9895　URL　http://www.consec.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役会長　(氏名) 佐々木　秀隆
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長　(氏名) 原田　文栄　TEL 082-277-5451

四半期報告書提出予定日　平成23年11月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期第2四半期 | 3,777 | △4.3 | △221 | ― | △217 | ― | △333 | ― |
| 23年3月期第2四半期 | 3,945 | 9.7 | △127 | ― | △120 | ― | △155 | ― |

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　△354百万円　(―%)　23年3月期第2四半期　△214百万円　(―%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期第2四半期 | △18.22 | ― |
| 23年3月期第2四半期 | △8.47 | ― |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 24年3月期第2四半期 | 10,261 | 6,641 | 63.8 |
| 23年3月期 | 10,821 | 6,997 | 63.8 |

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　6,542百万円　23年3月期　6,900百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期 | ― | 0.00 | ― | 0.00 | 0.00 |
| 24年3月期 | ― | 0.00 | | | |
| 24年3月期(予想) | | | ― | 0.00 | 0.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 8,426 | 1.2 | △108 | ― | △94 | ― | △238 | ― | △13.03 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 24年3月期2Q | 18,640,112 株 | 23年3月期 | 18,640,112 株 |
| ② 期末自己株式数 | 24年3月期2Q | 386,103 株 | 23年3月期 | 385,705 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 24年3月期2Q | 18,254,218 株 | 23年3月期2Q | 18,256,608 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は〔添付資料〕2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．四半期連結財務諸表 …… 3
（１）四半期連結貸借対照表 …… 3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（４）セグメント情報等 …… 7
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8

## １．当四半期決算に関する定性的情報

### （１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、本年３月の東日本大震災による原発事故や電力不足の影響が、生産・流通・設備投資・個人消費など幅広い分野で全国に波及しました。土木建設業界においては震災復興、災害防止を重点に緊急対策が図られましたが、政府による緊急支援や復興予算が決まらず、復興計画は迷走し、復旧需要は低水準に推移しました。

このような環境の中、当社グループはやがては顕在化する復興需要に備え、工業ダイヤを応用した機器の販売と施工方法の立案・提言を展開しましたが、現状は未だ検討段階に推移し、大きな受注に繋がっておりません。

その結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は37億77百万円（前年同期比 4.3%減）となりました。利益面におきましては販売費および一般管理費の一層の削減に取り組んでまいりましたが、工事の先送りなど売上の減少を補えず営業損失は２億21百万円（前年同期は営業損失１億27百万円）となりました。また経常損失は２億17百万円（前年同期は営業損失１億20百万円）となり、四半期純損失は法人税等調整額を94百万円計上したことなどにより、３億33百万円（前年同期は四半期純損失１億55百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（切削機具事業）

震災復興工事に備えコアドリルやワイヤーソーの売上は順調でしたが、マンホール耐震化消散弁の取付工事など実需工事が先送りとなりダイヤビット等の消耗品の販売が伸びず、売上高は12億93百万円（前年同期比6.3%減）、営業利益は15百万円（前年同期比77.4%減）となりました。

（特殊工事事業）

橋梁や学校などの耐震補強工事は、ほぼ前年並みに推移しましたが、東日本大震災の復興需要は現地調査や計画見積もりが先行する中、工事は検討段階にとどまったため主要な受注につながらず、売上高は５億40百万円（前年同期比 8.7%減）、営業損失は６百万円（前年同期は営業利益45百万円）となりました。

（建設・生活関連品事業）

安全具や防災機具類の販売が増加しましたが、住宅設備関連の工具や資材は前年並みに推移し、売上高は13億17百万円（前年同期比 0.0%増）、営業損失は22百万円（前年同期は営業損失６百万円）となりました。

（工場設備関連事業）

震災による原発事故に伴う電力需要の抑制などの影響で民間設備投資が大きく後退し、自動制御盤・配電盤等の受注が減少し、売上高は２億25百万円（前年同期比19.3%減）、営業損失は15百万円（前年同期は営業利益２百万円）となりました。

（介護事業）

高齢者専用賃貸住宅の入居率が順調に上がり、デイサービス利用者も増加したこと等で、売上高は２億38百万円（前年同期比19.4%増）、営業損失は25百万円（前年同期は営業損失46百万円）となりました。

（ＩＴ関連事業）

震災による電力需要の抑制等の影響でIT設備投資需要も後退し、全体需要の低下と厳しい競争環境が続き、売上高は１億63百万円（前年同期比 8.4%減）、営業損失は10百万円（前年同期は営業損失22百万円）となりました。

### （２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末から５億60百万円減少し102億61百万円となりました。流動資産は、売上高の低下および売上債権の回収に伴う受取手形及び売掛金の減少などにより５億26百万円減少し40億95百万円となりました。固定資産は、大きな変動は無く34百万円減少し61億66百万円となりました。流動負債は、仕入高の減少および仕入債務の支払に伴う支払手形及び買掛金の減少などにより１億66百万円減少し26億円となりました。固定負債は、大きな変動は無く38百万円減少し10億20百万円となりました。なお、長期・短期借入金は１億38百万円減少し16億円となりました。純資産は、四半期純損失３億33百万円などにより３億56百万円減少し66億41百万円となりました。

### （３）連結業績予想に関する定性的情報

電力不足問題や円高による為替変動等の不安定要素は残るものの、東日本大震災復興予算財源も概ね決定する見通しとなり、景気は落着きを取り戻し徐々に復興へ向かうものと予想されます。土木建設業界においても計画予算を確定し、東日本を中心に復旧工事が本格化し需要拡大が見込まれます。また、防災意識は全国に波及し補強工事が活性化してきたことから当社グループといたしましては需要の流れに俊敏に対応し、当社の特性を生かした提案営業をさらに強化して受注獲得に総力を挙げてまいります。また、新規事業分野である半導体切削用の機器・材料の売上も本格化し、業績向上に資する段階となります。当期の見通しにつきましては平成23年10月28日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## ４．四半期連結財務諸表

### （１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>（平成23年３月31日） | 当第２四半期連結会計期間<br>（平成23年９月30日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,032,423 | 912,732 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,275,311 | 1,916,935 |
| 有価証券 | 108,002 | 59,831 |
| 商品及び製品 | 825,614 | 859,463 |
| 仕掛品 | 34,063 | 38,443 |
| 原材料及び貯蔵品 | 161,430 | 209,549 |
| 繰延税金資産 | 110,171 | 9,785 |
| その他 | 78,993 | 94,549 |
| 貸倒引当金 | △4,493 | △6,033 |
| 流動資産合計 | 4,621,514 | 4,095,253 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 3,929,440 | 3,932,760 |
| 減価償却累計額 | △2,349,757 | △2,382,562 |
| 建物及び構築物（純額） | 1,579,683 | 1,550,198 |
| 土地 | 3,793,925 | 3,793,925 |
| その他 | 1,042,293 | 1,060,974 |
| 減価償却累計額 | △944,821 | △960,776 |
| その他（純額） | 97,473 | 100,198 |
| 有形固定資産合計 | 5,471,080 | 5,444,321 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 20,805 | 17,162 |
| その他 | 67,451 | 56,892 |
| 無形固定資産合計 | 88,256 | 74,054 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 360,494 | 366,951 |
| 繰延税金資産 | 9,138 | 15,234 |
| その他 | 335,303 | 328,390 |
| 貸倒引当金 | △64,387 | △62,734 |
| 投資その他の資産合計 | 640,549 | 647,841 |
| 固定資産合計 | 6,199,885 | 6,166,216 |
| 資産合計 | 10,821,399 | 10,261,469 |

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>（平成23年３月31日） | 当第２四半期連結会計期間<br>（平成23年９月30日） |
|---|---|---|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,429,282 | 1,347,437 |
| 短期借入金 | 1,062,788 | 1,002,618 |
| 未払法人税等 | 47,089 | 26,786 |
| 賞与引当金 | 62,100 | 73,202 |
| 完成工事補償引当金 | 324 | 366 |
| その他 | 165,055 | 149,732 |
| 流動負債合計 | 2,766,638 | 2,600,141 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 675,594 | 597,839 |
| 退職給付引当金 | 311,509 | 341,581 |
| 役員退職慰労引当金 | 23,996 | 30,681 |
| その他 | 47,002 | 50,306 |
| 固定負債合計 | 1,058,100 | 1,020,407 |
| 負債合計 | 3,824,738 | 3,620,547 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 4,090,270 | 4,090,270 |
| 資本剰余金 | 3,013,064 | 3,013,064 |
| 利益剰余金 | △7,881 | △340,527 |
| 自己株式 | △54,824 | △54,866 |
| 株主資本合計 | 7,040,628 | 6,707,941 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △120,476 | △147,613 |
| 為替換算調整勘定 | △19,721 | △18,140 |
| その他の包括利益累計額合計 | △140,198 | △165,753 |
| 少数株主持分 | 96,230 | 98,734 |
| 純資産合計 | 6,996,660 | 6,640,922 |
| 負債純資産合計 | 10,821,399 | 10,261,469 |

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自　平成22年４月１日<br>至　平成22年９月30日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自　平成23年４月１日<br>至　平成23年９月30日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 3,944,712 | 3,776,819 |
| 売上原価 | 3,071,437 | 3,002,664 |
| 売上総利益 | 873,275 | 774,155 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,000,469 | 995,342 |
| 営業損失（△） | △127,193 | △221,187 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,352 | 1,623 |
| 受取配当金 | 4,593 | 4,658 |
| 受取手数料 | 4,438 | 5,311 |
| 受取家賃 | 8,547 | 8,257 |
| その他 | 12,035 | 7,081 |
| 営業外収益合計 | 30,965 | 26,929 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 8,652 | 8,186 |
| 有価証券運用損 | 9,907 | 12,299 |
| その他 | 5,073 | 2,270 |
| 営業外費用合計 | 23,632 | 22,754 |
| 経常損失（△） | △119,860 | △217,013 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 3 | － |
| 投資有価証券売却益 | 18,065 | － |
| 負ののれん発生益 | 5,185 | － |
| 役員退職慰労引当金戻入額 | － | 547 |
| 特別利益合計 | 23,253 | 547 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 123 | 503 |
| 投資有価証券売却損 | － | 464 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 510 | － |
| 特別損失合計 | 633 | 967 |
| 税金等調整前四半期純損失（△） | △97,240 | △217,433 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 21,999 | 18,016 |
| 法人税等調整額 | 28,237 | 94,071 |
| 法人税等合計 | 50,236 | 112,087 |
| 少数株主損益調整前四半期純損失（△） | △147,477 | △329,520 |
| 少数株主利益 | 7,088 | 3,126 |
| 四半期純損失（△） | △154,565 | △332,646 |

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自　平成22年４月１日<br>至　平成22年９月30日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自　平成23年４月１日<br>至　平成23年９月30日） |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純損失（△） | △147,477 | △329,520 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △58,725 | △27,006 |
| 為替換算調整勘定 | △7,303 | 2,436 |
| その他の包括利益合計 | △66,028 | △24,570 |
| 四半期包括利益 | △213,505 | △354,090 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △218,118 | △358,201 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 4,614 | 4,111 |

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）セグメント情報等
Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自平成22年４月１日　至平成22年９月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 切削機具事業 | 特殊工事事業 | 建設・生活関連品事業 | 工場設備関連事業 | 介護事業 | ＩＴ関連事業 | 合　計 |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,380,169 | 591,684 | 1,315,943 | 278,935 | 199,668 | 178,312 | 3,944,712 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | － | － | 10,510 | 5,242 | － | 300 | 16,052 |
| 計 | 1,380,169 | 591,684 | 1,326,453 | 284,177 | 199,668 | 178,612 | 3,960,763 |
| セグメント利益又は損失（△） | 64,120 | 45,453 | △5,865 | 2,339 | △46,388 | △22,493 | 37,166 |

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

| 利　益 | 金　額 |
|---|---|
| 報告セグメント計 | 37,166 |
| セグメント間取引消去 | 1,792 |
| 全社費用（注） | △166,152 |
| 四半期連結損益計算書の営業損失（△） | △127,193 |

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自平成23年４月１日　至平成23年９月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 切削機具事業 | 特殊工事事業 | 建設・生活関連品事業 | 工場設備関連事業 | 介護事業 | ＩＴ関連事業 | 合　計 |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,293,265 | 540,001 | 1,316,568 | 225,238 | 238,339 | 163,408 | 3,776,819 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | － | － | 18,201 | 9,712 | － | 1,112 | 29,025 |
| 計 | 1,293,265 | 540,001 | 1,334,769 | 234,950 | 238,339 | 164,520 | 3,805,844 |
| セグメント利益又は損失（△） | 14,519 | △5,745 | △22,006 | △15,409 | △24,921 | △9,614 | △63,176 |

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

| 利　益 | 金　額 |
|---|---|
| 報告セグメント計 | △63,176 |
| セグメント間取引消去 | △1,135 |
| 全社費用（注） | △156,876 |
| 四半期連結損益計算書の営業損失（△） | △221,187 |

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。